

和歌山工業高等専門学校		開講年度	令和02年度 (2020年度)		授業科目	生物応用化学入門	
科目基礎情報							
科目番号		0015		科目区分		専門 / 必修	
授業形態		授業		単位の種別と単位数		学修単位: 2	
開設学科		生物応用化学科		対象学年		1	
開設期		通年 (隔週)		週時間数		1	
教科書/教材							
担当教員		楠部 真崇,岸本 昇,野村 英作,土井 正光,綱島 克彦,米光 裕,奥野 祥治,河地 貴利,スティアマルガ デフィン,西本 真琴,森田 誠一					
到達目標							
この科目は、生物応用化学科で習得するための基本的知見と技術について、講義形式で授業を行うものである。全15週の内、7週の授業が、製薬・化学・化粧品・研究・コンサルティング等の企業で業務していた教員がオムニバスで担当する。この科目は学修単位科目のため、授業毎に自学自習のためのレポート課題を課します。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
生物応用工学科で実施されている研究について理解できる		実施している研究について内容を調査し、必要性を説明できる。		実施している研究について内容を調査し、自分の言葉で話ができる。		実施している研究について内容を調査できない。	
基礎科目の重要性を理解できる		研究に必要な基礎科目を理解し、取り組む努力に繋げられる。		研究に必要な基礎科目がわかる。		研究に必要な基礎科目を理解し、取り組む姿勢が見られない。	
学科の到達目標項目との関係							
B C-1 C-2							
教育方法等							
概要		この科目は、生物応用化学科で習得するための基本的知見と技術について、講義形式で授業を行うものである。全15週の内、7週の授業が、製薬・化学・化粧品・研究・コンサルティング等の企業で業務していた教員が担当する。					
授業の進め方・方法		毎回、各研究室の教員が研究内容と技術や知見の可能性を講義する。また、取り組んでいる共同研究を紹介し、研究のシミュレーションを行う。					
注意点							
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	ガイダンスおよび教員 1 による研究紹介		生物応用化学科で習得すべき知見と技術の理解		
		2週					
		3週	教員 2 による研究紹介		研究のアウトラインを理解する		
		4週					
		5週	教員 3 による研究紹介		研究のアウトラインを理解する		
		6週					
		7週	フリーディスカッションとラボ訪問		研究をするための、ラボ訪問により現場状況把握		
		8週					
	2ndQ	9週	中間試験期間				
		10週	教員 4 による研究紹介		研究のアウトラインを理解する		
		11週					
		12週	教員 5 による研究紹介		研究のアウトラインを理解する		
		13週					
		14週	教員 6 による研究紹介		研究のアウトラインを理解する		
		15週					
		16週					
後期	3rdQ	1週	フリーディスカッションとラボ訪問		研究をするための、ラボ訪問により現場状況把握		
		2週	教員 7 による研究紹介		研究のアウトラインを理解する		
		3週					
		4週	教員 8 による研究紹介		研究のアウトラインを理解する		
		5週					
		6週	教員 9 による研究紹介		研究のアウトラインを理解する		
		7週					
		8週	中間試験期間				
	4thQ	9週	フリーディスカッションとラボ訪問		研究をするための、ラボ訪問により現場状況把握		
		10週					
		11週	教員 1 0 による研究紹介		研究のアウトラインを理解する		
		12週					
		13週	教員 1 1 による研究紹介		研究のアウトラインを理解する		
		14週					
		15週	フリーディスカッションとラボ訪問		研究をするための、ラボ訪問により現場状況把握		
		16週					
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標		到達レベル	授業週
評価割合							

	発表	課題	合計
総合評価割合	50	50	100
基礎的能力	25	25	50
分野横断的能力	25	25	50